

広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

147号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

- 一般質問の動画配信QRコードから初めて拝見しました。今までは誌面を見ていただけでしたので生の声で聴くことができ、よりリアルに感じ取ることができました。議会の雰囲気がより多くの人に伝わることを願います。
- 9月定例会の議案について、議決結果が表になっているのは良いですが、内容詳細をQRコードで確認できるとさらに理解できると思います。
- 中学「にぎやかグループ」の紹介良いです。南箕輪を盛り上げてくれる若者の活動は嬉しいです。
- 「きらきら村の仲間たち特別編」は、中学校3年生の総合学習の一環として紹介したものであるが、5つの中の1つのグループの取り組みを通じて大芝まつりを盛り上げて、地域のみなさま、特に保育園の園児や小学生は喜び楽しんだと思います。このような企画の内容を紹介したのは地域や学校等の交流を含め大切なことであり、これからの活動として必要だと思います。
- 内容、情報量ともに、最後まで読みやすい内容でした。
- 議員のみなさんが多くの観点から多岐にわたり質問されているが、よくわかるように編集されており、読む人にわかりやすく要点をまとめてあると思います。加藤議員の大芝高原森林づくりについては、大切な大芝高原の管理、植樹といった現場の手入れの状況等について解りやすく数字的に答えることは、読んでいる人にもわかりやすく良かったと思います。
- 各委員会ごとに取り組んでいる内容や活動のようすがわかりやすく書かれていて、議員のみなさんのご苦勞を感じました。より良い村づくりのための活動に心から感謝です。今後も活発な活動を期待しています。

議会に対するご意見

- 福祉入浴券は我が家にも毎年送られてきますが、高齢のため入浴に使うことはしていません。大芝の味工房等で使えるようですが、そこまで行く手段がないと結局使わずに終わってしまいます。なにか他のかたちに変えることはできないのでしょうか。
- マイナ保険証には反対です。現行保険証を残してほしいという国民も多くいます。もう見直しは難しいのでしょうか。
- 福祉教育常任委員会、小中学校の関係者と意見交換を行ったとのこと。生徒や保護者の立場から考える現状や課題も福祉教育常任委員会にきちんと伝わっているのか。次の議会だよりが楽しみです。
- 議会活動の一環として、福祉教育常任委員会の保育を守るための要望が紹介され、その要望や回答から、議会・村とも、よりよい保育を目指して活動等されていることが十分伺われました。ただ、要望1に対する回答を見て、最近報じられた近隣自治体のことも

あり、要望の趣旨はそういうことだったのかな、とも思いました。また、議会ホームページにはこうした要望のほか、提言も「村への要望など」として掲載されています。けれども、提言は村議会基本条例に責務とされていますので、例えば「提言と要望」というように、提言という言葉も入っていればよりよいのではないかと思います。

○石破首相に代わり、地方創生、東京一極集中是正といった声が高まっています。そうは言っても、働く場所、稼ぐ力は、当村を含め田舎は大都市に比較すればかなりの開きがあります。そんな状況で、若者を田舎に呼び戻すとか、移住の促進と言っても限界があります。南箕輪村としては、特色のある地域環境、魅力ある職場を訴求し、まず「関係人口」の拡大を推進していくべきではないでしょうか。議員には、そういった視点・コンセプトでの村おこし活動を展開していただきたいと思います。

○モバイルトイレ購入について（身障者には是非とも必要ですね）、高額な買い物になるので、他市町村や他県の災害の際には貸し出すルール作りが必要かと思います。

寄せられた質問

○各議員の一般質問内容ですが、村を良くするためにバランスよく質問がされているように思います。他の議員との重複がないように事前調整をしているのでしょうか。また、実際の議会では重複することはないのでしょうか。

回答 これまでは重複することがありましたが、今定例会からは調整することにしました。

○VC長野トライデンツスポンサー料について

- ① どのようなきっかけで支援するようになったのか
- ② 村から支出する金額、応援態勢はどうなっているか
- ③ 上伊那の他市町村も同じようにスポーツ団体を支援しているのか

回答 ①以前から南箕輪村を拠点として練習など行っていましたが、2016年にVリーグのV1に昇格したのをきっかけに、村とスポンサー契約を交わし、ユニフォームに「南箕輪村」と入れるようになりました。2018年にスポーツ活動推進を基軸とした活力あるむらづくりを推進することを目的に連携協定を締結しました。

②R6年度はスポンサー料として220万円、バナー広告料として80万3000円、クラウドファンディングで集まった寄付金を充てた8,000万円を支出しています。応援体制としてはVC長野の活動を積極的に広報し、試合のパブリックビューイング、ホームゲーム観戦チケットプレゼント、学校での「朝のあいさつ運動」、選手による保育園児や高齢者との交流事業を行い、応援する機運を高めています。また、村民体育館を練習場所として提供しています。

③上伊那では箕輪町が松本山雅のホームタウンとなっています。県内のVC長野を支援する市町村は松本市、岡谷市、安曇野市、下諏訪町、高森町、阿智村です。